

JCI 四国支部新規研究委員会の提案

委員会名称「次世代のコンクリート構造物の劣化診断に関する特別研究委員会」

メンバー

委員長： JCI 四国支部支部長 橋本親典

幹事長： 香川大学 岡崎慎一郎

委員： 四国 4 県の在住または勤務する JCI 正会員，ただし，若手研究者あるは技術者が望ましい。

委員候補： 香川高専 林 和彦

香川大学 宮本 慎宏

愛媛大学 河合 慶有

徳島大学 渡邊 健

徳島大学 塚越 雅幸

高知高専 近藤 拓也

ほか，国，市町村の若手，非破壊系が得意な四国の教員（愛大全先生，徳大の機械系で熱特性をしている先生など）

・ 活動内容

既設構造物 R C 構造物の維持管理には定期的に見視あるいは機器による検査を実施し，その検査結果から劣化診断を行う。現状，目視点検が大半であるため，劣化がある程度顕在化した状態でないと診断ができないため，潜在的な劣化を非破壊で検知する手法が求められている。

本研究委員会では，既設構造物を対象とした非破壊検査手法により，表層コンクリートの強度，物質移動抵抗性，含水率等の評価，かぶりコンクリートのひび割れ深さや，表層に現れない損傷の位置の同定，鉄筋腐食の有無や腐食速度等を非破壊で評価できる手法について，既存の手法の調査を行うとともに，既存の手法および各委員が提案する新しい手法の現場構造物の適用性について，現場での共通試験を通じて検討することを目標とする。

・ 活動時期 平成 28～29 年度の 2 年間

・ 平成 30 年春～夏にシンポジウム開催

・ 予算 総額約 100 万円（50 万円/年×2 年間）

委員会旅費，現場での共通試験（香川県内の R C 構造物，四国地方整備局研修所（四国技術事務所）にある研修用 R C 試験体を対象とした試験など）に要する宿泊費＋旅費

・ 本委員会は，JCI 四国支部 10 周年記念事業の 1 つである。

以上